

とびら

ヨエルさんとマルクスさんに
日本と母国との違いを尋ねてきました。(今回は本人たち直筆)

ニが違うよ NIPPON生活

☆コンビニ

お店が小さいから買いたいものが見つけやすい

充電器かしてくれる お湯もくれる

SMILE KO
お弁当が色々あって楽しい。

どこのにもある

店員にニニニ

何かそんなに面白いの?

あちこちに自販機。
スウェーデンには、
ほとんどない。



☆車



ボックスタイプが多い。
フィンランドには、ぜんぜんない。

スウェーデンにもないと思う。

☆学校

くつ箱やスリッパがある。

学校のそのじ時間やランチタイムに音楽

休み時間が年豆11から
友達と話す時間が少ない。

ベンチがほしい。友達と
座って話すところがない。
フィンランドはベンチや
ソファが校内にたくさんある



☆制服

カッコいい!!

今から学校という気持ちになる

私服のほうが動きやすい。
リュックができる

夏と冬か他に中間服が
あるのが良い。



☆トイレ



最初は使い方がわから
なかつたけど、わかると
気に入った。by マルクス

逆にふつうのトイレは「ハイテク」?
びっくりしたぞ。

マルクスさんに聞きました。
スウェーデンに持ち帰りたいもの

トルウォッシュレット

パーキングシステム(自転車
専用と車専用)
にこれも溢めない安全。

ごまドレッシング
どんな野菜にも合う

ハイテク

回車云寿司

ヨエル君が持って帰りたい
のは、きっとピザポテトと
思う。by マルクス

12月1日(木)とても嬉しいことがありました。留学生受入NPO団体(東京本部)より「ベストコーディネーター賞」の感謝状が届きました。そこには、「見事なアイデアと真心をもって留学生とホストファミリー、受入れ高校、そして地域社会と接してこられました。日本と世界の青少年育成に貢献する努力を称え、ここに感謝状を贈ります。」と書かれていました。ボランティア活動ではありますが年末にこのような賞をいただき嬉しく思うと同時に、これからも「慶誠大好き!」「熊本大好き!」「熊本は私のふるさとです!」と言ってくれる留学生を皆様と共に一人でも多く世界に増やしていきたいと思っています。来年6月に帰国するヨエルとマルクスも、「みんなに会いたい!」と帰国後も思い出してくれるような「残り6か月」を創りあげていきましょう! さて、今年も残すところあとわずか! 初めにチャレンジしてみた留学生新聞「とびら」、いかがでしたでしょうか? 2023年も皆様にとりまして心あたまる一年となりますよう、心を込めて留学生情報を皆様のもとに届けていきたいと思っています。

KEISEI グローバル教育アドバイザー
樋口久美子

マルクス心の俳句
ぬれた紅葉のにおいや
かよい道

相手が変わると言葉が変ると態度も変わる

自乗車で登校中、路上の道に落ち葉のカンパツが広がっていた。コアア秋りにおいたと感じた。入生1年生の秋と同じにおいした。こもまた私の家だと思つた。

次号予告 マルクスさん書道部に入ったぞです☆
次号ではジョバさん、ヨエルさん、マルクスさんに
2023年の抱負を書き始めたいと書いてもらおうと思つています。
お楽しみに☆ みなさんも書き始めや、お知らせしませんか?